

# 農作業の安全対策できていますか？

農水省より2014年農作業死亡事故数が発表されました。

その中で65歳以上の死亡事故者数が295人と昨年よりも23人増え、全体に占める割合は**84%**と過去最高でした。

農水省では「**農業者の高齢化が進む中、安全対策をより強化していかなければいけない**」と強調しています。



**安全な農作業は体調と服装を整えることから始まります。**

## 安全な農作業スタイル

### ヘルメットをかぶる

衝撃から頭を保護するヘルメットを着用しましょう。作業によっては、保護めがねなどの他の保護具を併用してください。

### 袖口をしめる

機械にまきこまれないように、袖口はきちんと締めましょう。

### ズボンからシャツをださない

シャツはズボンにいれて、機械にまきこまれないようにしましょう。

### すそのしぼったズボンをはく

すそのしぼった長ズボンをはきましょう。



### 首にタオルなどをまかない

首のタオルや携帯電話のネックストラップをはずして、機械にまきこまれない服装にしましょう。

### すべりにくい靴(トラクターシューズなど)をはく

転倒を防止するため、すべりにくい靴(トラクターシューズなど)をはきましょう。

安全は足元から。これがトラクターシューズです。



## 危険な農業スタイル

麦わら帽子で作業 → 衝撃から頭を保護できない

首にタオルを巻く、腰にタオルを挟む → 機械に巻き込まれる危険

ズボンからシャツが出る、袖口をしめない → 機械に巻き込まれる危険

半そで、半ズボンの着用 → 肌の露出は虫・ダニ被害や裂傷の危険

サンダル、スリッパで履く → 滑りやすい靴では作業中、転倒の危険



☆暑い日々、イライラせず安全な農作業を心がけましょう☆

毎年、農作業中の事故により全国で350名前後、県内でも10名ほどの尊い命が失われています。

事故の多くはトラクターの機械操作ミスなどによる転倒や転落によるもので、特に70歳以上の高齢者で事故が多くなっています。

以下の事項を再度確認して農作業安全に努めましょう！！

■ 日頃の作業を振り返り、自分の取り組みをチェックしてみましょう！

No.	項目	内容	チェック欄
①	正しい服装	作業に適した服装を	
②	所在連絡	作業内容や作業場所を家族などにきちんと伝達	
③	携帯電話	緊急時に備え、携帯電話を忘れずに	
④	体力調整	準備運動をしっかりと	
⑤	焦り防止	余裕をもった無理のない作業計画を	
⑥	作業確認	子供、妊婦、不慣れな人に危険作業はさせない	
⑦	周囲確認	周りの作業者に危険が及ばないように、周囲を確認	
⑧	複数人作業	危険作業は複数人で	
⑨	機械安全確認	安全装置をきちんと装着	
⑩	エンジン停止	機械から離れる時や点検する時はエンジンを切る	
⑪	適当な休憩	疲労が蓄積しないようにこまめな休憩を	
⑫	危険箇所の確認	危険箇所を確認し、看板等目印を設置	
⑬	技術講習	不慣れな機械作業は講習を受けてから	
⑭	労災・共済	万一の事故に備え、労災保険や傷害共済に加入！	
⑮	応急処置	万一の事故に備え、応急処置の知識を身につける	

<熱中症対策>

○予防は

①暑さを避ける②こまめな水分補給

○熱中症の症状は

①めまい、手足のしびれ、頭痛、嘔吐、吐き気、倦怠感、痙攣、返事がおかしい、身体が熱い、意識消失(→救急車)

○熱中症になったら

①涼しい場所へ避難②身体を冷やす  
③水分補給④救急車による搬送

<マダニの感染症(SFTS)対策>

○予防は(生息場所:草むら・水田)

①作業は長袖長ズボン着用と虫除けスプレー使用 ②帰宅後はすぐ着替える

○症状は

吐き気、嘔吐、下痢など消化器系の症状

○噛まれたら

①無理に除去せず、医療機関で処置する  
②やむを得ない時はアルコールや酢、火を近づけると離れる場合もある